

科目	機械工学実験 (Laboratory Work in Mechanical Engineering)		
担当教員	吉本 隆光, 中辻武, 赤対秀明, 和田明浩		
対象学年等	機械工学科・5年D組・前期・必修・2単位		
学習・教育目標	工学複合プログラム	C1(70%) C4(30%)	JABEE基準1(1) (d)2-b,(d)2-d,(e),(f),(h)
授業の概要と方針	より専門性の高い実験を通して、機械工学における基本的な解析能力と表現能力を身につける。材料、熱、潤滑、流体の分野について実験を行なう。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【C1】 実験の授業を通して、実験の目的・ねらいを理解できる。問題解決のための考え方を理解し、実験計画を立てられる。一連の実験手順を実践することができる。		各テーマで実験の目的・ねらいを理解し、問題解決のための考え方、実験計画を立て、一連の実験手順を実践することができるかをレポートおよび学習状況で評価する。4テーマの平均で評価する。
2	【C4】 実験の内容と結果および考察を適切かつ効果的に表現し、レポートにまとめることができる。		実験の内容と結果および考察を適切かつ効果的に表現し、レポートにまとめることができるかをレポートおよび学習状況で評価する。
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	実験の授業を通して実験の目的・ねらい・問題解決能力・実験計画立案能力・実践力を評価する(70%)。レポートにまとめ能力を評価(30%)する。		
テキスト	プリント		
参考書			
関連科目			
履修上の注意事項	4年機械実験から専門性(設計システム・システム制御コース)をいれた5年機械実験を行い、卒業研究へとつなげる。		

